

＜救われた喜びを握りしめ＞

ルカ 17 : 11 ~ 19

【重い皮膚病・ツァラート】

モーセの姉ミリアムが罪を犯したため、ツァラート(皮膚病)に冒されて、民から締め出された。(民数記 12:10)。ツァラートは単なる病いだけではなく、聖なる神との交わりにふさわしくない、汚れた者とみなされた。だから回復した際には、祭司がそれを見届け、きよめられたと宣言する必要があった。

1 ともいやしを受けとる があった

① いやされたのは祭司のところへ向かう途中だった

「行きなさい。そして自分を祭司に見せなさい。」 14節

Go show yourselves to the priests.

イエス様が祭司に見せなさいといわれたのは、癒されることが前提にあったから。

② イエス様からことばを授かって歩き出した

イエスキリストのことばには力がある。それを信じて従った。

③ 失っていた希望が回復した

煩いが取り去られ、人生の意味を取り戻した。

2、をささげるために戻ってきたのは

十人きよめられたのではなかったか。九人はどこにいるのか。 17節

この他国人のほか、神をあがめるために戻って来た者はいなかったのか。 18節

九人の信仰は、問題解決に満足するにとどまった。この世で生きるための恩恵に留まり、自分を罪から救い出してくださるお方を拝するまでには至らなかった。

3、イエス様の _____ にひれ伏そう

- ◆ サマリヤ人は自分も他の九人と同じようにいやされた事により、神の愛が自分にも注がれていたという事を知った。それは病がいやされた以上のものだった。その喜びがこの人をイエス様のもとへ向かわせた。

イエスキリストが崇められる場所が、真の礼拝の場となる事をイエス様は示された。

しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。ヨハネ4：23、24

「十人きよめられたのではなかったか。九人はどこにいるのか。
この他国人のほかに、神をあがめるために戻ってきた者はいなかったのか。」

イエス様の問いかけから・・・

- ・ 神の救いの恵みと祝福に預かった私たちは、どんな生活ができるだろうか。
- ・ 感謝と賛美を失っているとしたら、その理由は何だろうか。
- ・ どのように感謝と賛美を回復できるだろうか。